

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	令和2年度～令和6年度（5年間）																
事業実施地区名 （都道府県名）	（しらかわ・きくちがわ） 白川・菊池川森林計画区 （熊本県）	事業実施主体	九州森林管理局 熊本森林管理署																
事業の概要・目的	<p>本事業は、熊本県北部に位置する小国町、南小国町、阿蘇市、高森町、南阿蘇村、西原村、大津町、菊池市、山鹿市、玉名市、玉東町、熊本市に所在する国有林野10,456haを対象としている。</p> <p>本計画区は、白川、菊池川の源流域に位置し、水源かん養保安林が90%を占め、熊本市をはじめとする下流地域の水源地として重要な役割を担っており、良質で豊かな水の供給に係る機能の発揮を目的とする水源涵養タイプの森林について、計画的に整備することとしている。</p> <p>また、菊池市や阿蘇市などでは、国有林野と住宅、農耕地等が隣接しており、土砂の流出・崩壊等山地災害の防止を目的とする山地災害防止タイプの森林についても整備を計画している。</p> <p>このほか、本計画区には、阿蘇くじゅう国立公園などの自然公園やレクリエーションの森等があり、当該箇所においても整備を計画している。</p> <p>本事業では、森林の有する水源涵養機能、山地災害防止機能、保健文化機能などの公益的機能の持続的な発揮と併せ、木材の安定供給、地球温暖化の防止及び地域の活性化に寄与するため、植栽や間伐等の森林整備を積極的に実施するとともに、森林整備の効率的な実施に必要な路網整備に取り組むこととしている。</p> <p>具体としては、令和2年度～令和6年度の5年間で人工林を主体とした育成林417ha（育成単層林264ha、育成複層林153ha）の更新、保育3,836ha（下刈1,384ha、つる切279ha、除伐294ha、保育間伐1,879ha）を実施するとともに、木材生産を45万m^3（主伐21万m^3、間伐24万m^3）計画し、地域の林業・木材産業の活性化に取り組むほか低コストの林業専用道を22km開設するとともに、既設林道の機能向上のため、舗装等の改良を14km計画するなど、森林整備の推進を図ることとしている。</p> <p>なお、これまでの事業評価結果を踏まえ、事業の実施に当たっては、効率的かつ効果的な実施に努め、国土の保全、自然環境の維持に配慮しつつ、森林整備の低コスト化に向けた取組として、列状間伐や路網と高性能林業機械を組み合わせた高効率・低コストな作業システムの定着、下刈の回数を減らす等の低コスト造林の導入・定着を図ることとする。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>・主な事業内容</td> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>417ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>3,836ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>22km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>14km</td> </tr> </table> <p>・総事業費 3,050,157千円（税抜き 2,772,870千円）</p>			・主な事業内容	森林整備	更新面積	417ha			保育面積	3,836ha		路網整備	開設延長	22km			改良延長	14km
・主な事業内容	森林整備	更新面積	417ha																
		保育面積	3,836ha																
	路網整備	開設延長	22km																
		改良延長	14km																
費用便益分析	<p>総便益（B） 16,273,096（千円）</p> <p>総費用（C） 3,522,587（千円）</p> <p>分析結果（B/C） 4.62</p>																		
森林管理局事業評価 技術検討会の意見	事業の必要性、効率性、有効性が認められることから、本事業の実施は妥当と判断される。																		

<p>評価結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 本事業は、森林の有する公益的機能の持続的な発揮に資すること、また、事業の実施を通じて生産された木材を安定供給することにより地域の林業・木材産業の振興に寄与していることから、その必要性が認められる。 ・効率性： 森林整備では、列状間伐や高性能林業機械による低コストで効率的な作業システムの定着を図ることとしている。 また、路網整備では、トラックの通行できる路網がないため、林業機械での長距離運搬となっている非効率な箇所を整備を優先すること、森林整備事業箇所へのアクセスを向上させる路網設計を採用することにより、コスト縮減を図ることとしている。 これらについては、費用便益分析の結果からも効率性が認められる。 ・有効性： 密度調整が必要な林分での間伐等の実施により、森林の有する公益的機能が持続的に発揮されることが見込まれるとともに、整備した路網を活用することにより木材の安定供給が図られ、引き続きその効果が発現されると見込まれる。 また、完了後の評価結果を踏まえた事業内容となっており、事業の有効性が認められる。 <p>新規事業採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用便益分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的に評価したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備及び路網整備が効果的・効率的に計画されているものと認められる。</p>
-------------	---

注) 国有林野においては、公益機能の維持増進を旨とした管理経営を行うため、「山地災害防止タイプ（土砂流出・崩壊防備エリア、気象害防備エリア）」「自然維持タイプ」「森林空間利用タイプ」「快適環境形成タイプ」「水源涵養タイプ」の機能類型区分を行い、各機能の発揮を目的とした管理経営を行っている。

様式1

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業(国有林)

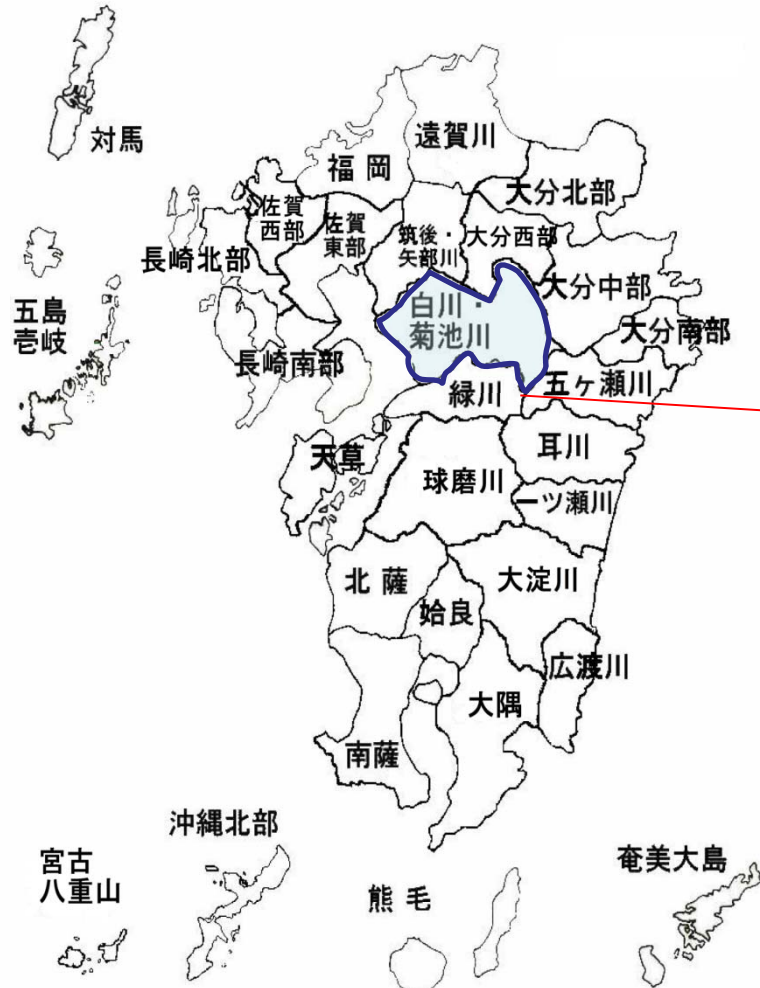
都道府県名：熊本県



施行箇所：白川・菊池川森林計画区

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	4,616,989	
	流域貯水便益	1,304,549	
	水質浄化便益	3,966,317	
山地保全便益	土砂流出防止便益	2,603,921	
環境保全便益	炭素固定便益	911,077	
木材生産等便益	木材利用増進便益	345,342	
	木材生産確保・増進便益	771,657	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	1,753,244	
総 便 益 (B)		16,273,096	
総 費 用 (C)		3,522,587	
費用便益比	$B \div C = \frac{16,273,096}{3,522,587} = 4.62$		

森林環境保全整備事業 白川・菊池川森林計画区 事業概要図

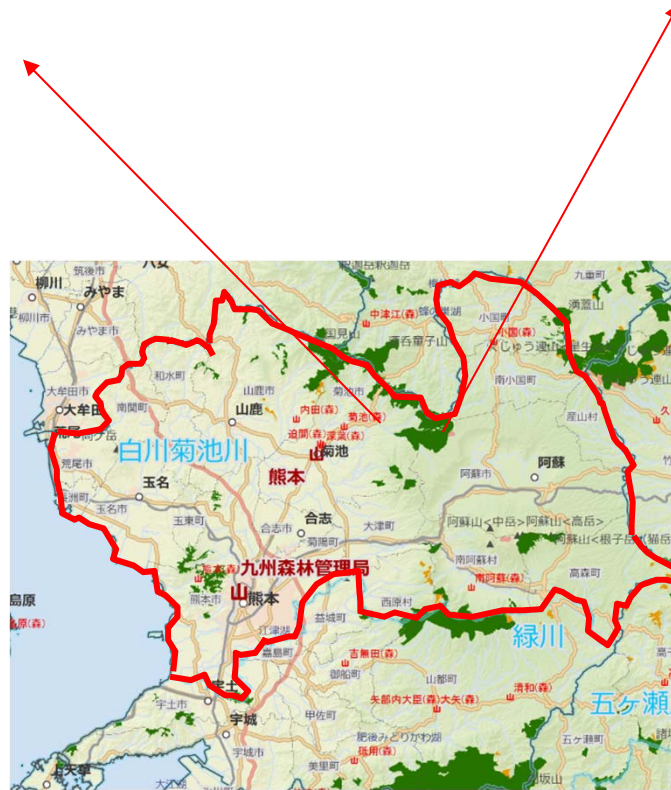


凡 例	
	評価区域
	国有林

林道開設



白川・菊池川森林計画区



保育間伐(活用型)

